

ママを支えるまちへ 寄居はもっと優しくなる

聴かせて！リアルトーク

議会×ママたち

本音、聴いちゃいました！

令和8年5月23日に開催した議会報告会・意見交換会では、寄居町在住の子育て中のママたちから町に対する声を聞いた。「寄居町の子育て支援ってどう？」「町に言いたいことたくさんある！」等、ママたちの本音トークが炸裂！ 本当に必要な支援策とは何か？ 今号では、町の未来を担う子育て世代に大注目！

ママたちのリアル提言

良い事業は積極的に取り入れて

あるといいなママたちに会える場所

もっともっと発信して

車がないと生活が不便

地域のつながりが大事

ママたちのコミュカ、すごいです！

子育て支援をもっと手厚く

切実、子どもの遊び場・居場所

はんた ゆう 半田 悠さん(西部)

友人から、近隣市でスタートした「ライオン制度」(子どもが学校を休んで保護者等と体験活動を行うための制度。取得日は登校扱い)が寄居町でも始まったらしいと言った声がありました。良い事業はどんどん取り入れて、もっともつという町になってもらいたいですね。

せき かずみ 関 和美さん(男衾)

「子育て支援センター」は、利用日や利用時間が限られているので、お昼寝の時間に重なり行けなくて残念。役場庁舎内に常設で子どもを遊ばせられる場所があればいいですね。そこに行けば、「いつでもママたちと交流できる」という安心感が！

おはま まき こ 大浜真枝子さん(西部)

産後、ベビシッター等(家事支援)の補助があれば、助かりますね。産後は母親自身も全く余裕がないので、自分から情報をキャッチするのは大変。もっともつと、町から積極的な発信をお願いしたいですね。

おもりさとみ 大森里美さん(西部)

寄居町に嫁いでまず困ったのが「車の免許」です。買い物等、近所のママ友のサポートがありがたかったです。移住してくる人のためにも、デマンドタクシーのさらなる利便性や自動車の免許取得の助成等、考えてもらいたいですね。

くろだ みちこ 黒田美智子さん(桜沢)

子どもと散歩をしていたら、高齢の方から優しく声をかけられ、たくさんのかみそをいただいたんです。都内ではありえない、なんて温かい町なんだろうと感動しました。世代を超えた地域のつながりが大切と感じます。

みかじりゆみこ 三ヶ尻由美子さん(西部)

町の子育て支援の内容を知らない人が多いですね。ママたちのコミュカ(クチコミ)で情報はいくらでも広がっていくと思います。例えば、健診の後などにさりげなく集まる場所があれば、ママたちは、どんどんつながっていくと思いますね。

うすだ あい 臼田 愛さん(鉢形)

5人の子育ての中で、保育所や学童にお世話になっていますが、保育士さんや指導員さんが不足していて、働き手をどう増やしていくかが急務だと思います。また、学童に入所するときの費用や保育所の副食費への補助があると助かります。

えびね ゆうこ 海老根裕子さん(西部)

子どもが遊べる場所、町内に少ないですね。小学校低学年は、親と一緒にないと大きい遊具がある公園(寄居運動公園内)のいきいき元氣パークや天沼公園等には行けません。特に、雨の日でも遊べる屋内の遊び場が欲しいですね。

議会も応援！

3月
定例会で
議決

令和8年度から待望の
「保育料の無償化」
「小・中学校給食費無償化」
がスタートしました。



保育料無償化



小・中学校給食費無償化

※令和5年6月以降の一般質問で、子育て支援についての提言は、100項目に上る。

意見交換会



ボカイの視点

的確な視点生かしたい

寄居町議会ですべてとなった「ママとの対話」。そこで知ったのは、ママたちの秘めたるパワーと的確な視点。次ページでは、ママだって主張したい！の声にこえて、町の支援事業を直接取材！